

平成29年度
教育委員会事務事業に係る外部評価表
(平成28年度事業対象)

○実施日 平成29年9月19日(火) 午前9時30分

○場 所 せたな町役場第1会議室

○外部評価委員

瀬棚区本町	鵜入 泰宏
大成区宮野	田嶋 潤
北檜山区松岡	東間千景子(欠席)
北檜山区豊岡	千葉 憲之

平成29年度せたな町教育委員会実施事業評価一覧表(平成28年度事業対象)

総務・学校教育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
					H28
1	教育委員の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催(11回) ・学校訪問(幼稚園1園、小中学校全8校) ・全道・管内研修会出席 ・せたな町総合教育会議 ・学校運営協議会(コミュニティースクールに関する)勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会での案件審議、学校訪問での意見交換、研修会への参加など活動が円滑に行われた。 ・せたな町総合教育会議に参加し町長と委員の間で、教育について意見交換ができた。 ・勉強会を行うことで学校運営協議会について理解をしてもらうことができた。 ・教育委員との勉強会について継続実施。 	自己評価どおりでよい	A
2	学校経営の円滑な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・定例校長会議における教育長示達 ・各月毎の学校経営の重点及び学校経営報告書の提出 ・教育課程の適正な管理及び次期学習指導要領移行措置の実施 ・教職員の服務規律保持の指導 ・生涯学習指導主事の学校訪問(各学期毎) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開かれる定例校長会議において、教育長示達の中で教育行政執行方針の具現化に努めていた。 ・各学校から毎月「学校経営の重点と経営報告書」、各学期末には「学校運営に係る自己点検票」、学年末には「教育執行方針達成度調査」の提出を求め、各校の実践事項や実情の把握に努めた。 ・教職員の服務規律等の厳守については、定例校長会議・教頭会議の中で資料を用いて指導を行った。 ・町生涯学習指導主事の学校訪問は、各学期毎の定期訪問(計24回)、教育局指導主事訪問(計16回)、必要に応じて随時に実施し、各校の学校経営・学習指導・生徒指導等に関わる指導・助言を行った。 ・平成32年度小学校、平成33年度中学校で全面実施となる次期学習指導要領の移行措置期間における移行措置内容の実施に向けた指導・助言を行った。 ・次期学習指導要領の移行期間に向けた準備。 ・教職員の服務規律指導のさらなる徹底。 	自己評価どおりでよい	B
3	学力の向上対策	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査及び町独自に標準学力検査を実施 ○「せたな町学力向上改善プラン」に基づく学習指導の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査については、採点結果を分析し、日常の学習指導や各学校の「学力向上改善プラン」作成に生かした。 ○町広報誌で学力・学習状況調査の結果を公表し、保 	自己評価どおりでよい	B

		<p>○読書習慣の確立に向けた取り組みの推進</p> <p>○家庭と連携した家庭学習の習慣化について、各学校での取り組み推進に向けての指導・助言</p> <p>○長期休業中や放課後の学習指導、チャレンジテスト問題などの取り組みについて、学校の実態に合わせて行われた指導・助言</p> <p>○チャレンジテストへの全校参加</p> <p>○久遠小学校・瀬棚小学校へ教員免許を持った学習支援員を配置し、複式学級の指導支援に当たらせている。</p>	<p>護者の理解を高めている。</p> <p>○各学校においては、小学校年・中学校実施の標準学力検査や全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、教育委員会作成の「せたな町学力向上改善プラン」をもとに学校独自の「学力向上改善プラン」等を作成し、学習指導等の改善に取り組んだ。</p> <p>○各校、日課に朝読書の時間を入れるなど、児童生徒の読書活動の習慣化に努めた。</p> <p>○チャレンジテストへの全校参加や、長期休業中の学習日の設定、放課後学習等、学校ごとの実態に応じた工夫をしながら学力向上に取り組んだ。</p> <p>○学習支援員を配置することで、人数が多い複式学級において、授業での間接指導の際、児童の疑問やつまづきなどに適切に対応することができ、学習理解を深めることができた。</p> <p>・学力向上に向けたICT機器の活用方法の調査・研究。</p>		
4	道徳教育の推進	<p>・「道徳の教科化」に向けた校内研修のための資料の作成</p> <p>・「道徳の時間」の改善・充実に向けての指導</p> <p>・「私たちの道徳」の活用に向けての指導・助言</p> <p>・参観日等における「道徳の時間」の授業公開</p>	<p>・「私たちの道徳」を活用した「道徳の時間」の改善・充実については、町内全校において日常実践及び校内研修等で取り組みがされている。</p> <p>・参観日等における「道徳の時間」の授業公開については、年間計画に位置付けられると共に、授業参観等において公開され、学校と家庭の連携した取り組みが進められた。</p> <p>・平成30年度小学校、平成31年度中学校で全面实施となる「道徳の教科化」の円滑な実施に向けての支援を行う必要がある。。</p>	自己評価どおりでよい	B
5	特別支援教育の推進	<p>・特別支援教育連携協議会の年3回の開催と連携協議会だよりの発刊</p> <p>・「個別の教育支援計画及び指導計画」の作成</p> <p>・「特別支援教育支援員」の配置</p> <p>・「せたな町特別支援教育体制機構図」の作成</p>	<p>・特別支援教育連携協議会を年3回開催し、教育・福祉・行政等の関係機関が連携し、実態把握・情報交換を行うとともに、連携協議会だよりを年3回発刊し、保護者・地域への啓発活動を行った。</p> <p>・「特別支援教育連携協議会」と「教育支援委員会」</p>	自己評価どおりでよい	A

			<p>を中心に、町内の特別支援教育の体制が明確になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を対象にした就学児知能検査、2次検査、保護者への通知、必要に応じての保護者との面談、教育支援委員会での審議の有無等の流れが明確になった。 ・当該学校では、特別支援学級在籍者を中心に、長期的支援を見据え「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成が定着している。 ・特別支援教育支援員は、町内1園4校に計13名が配置され、特別な支援を要する児童生徒の生活・学習支援を行い、児童生徒のつまづきなどに随時対応することができた。 <p>(北檜山幼稚園4名、北檜山小学校4名、若松小学校1名、瀬棚小学校1名、北檜山中学校3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の要望が多くなってきているが、募集してもなかなか応募者が希望人数に達しないため、日頃より人材確保に努める。 ・各学校への多目的トイレの設置、バリアフリー化を進める。。 		
6	外国語指導助手等の派遣	<p>○ALT 各中学校週1～2回派遣 馬場川小に月1～2回派遣 (火…瀬棚中 水…北檜山中 木…大成中)</p> <p>○J-ALT 各小学校週1回派遣 (火…北檜山小・馬場川小、水…若松小、木…久遠小、金…瀬棚小)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)を各中学校へ週1～2回派遣した。ALTは教科担任と打ち合わせて活動計画を作成し、学習が進められた。 ・小学校5・6年の外国語活動が必修となったことから、町独自にJ-ALTを雇用し各小学校に週1回派遣した。指導に当たっては、担任とJ-ALTが打ち合わせて活動計画を作成し、児童が楽しみながら英語の語学力を身につける学習が進められた。 ・希望する小学校については、ALTの空き時間を活用しての追加派遣をし、ネイティブ英語に触れる機会やコミュニケーション能力の育成に努めた。 ・平成29年度からの小学校外国語活動の実施学年と 	自己評価どおりでよい	A

			時数増に関わり、ALTとJ-ALTの今後の活用方法について検討が必要		
7	生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校での全教職員による生徒指導体制の確立 ・道教委のスクールカウンセラー派遣（拠点校：北檜山中学校・年12日） ・生涯学習指導主事への相談（学校訪問及び随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校においては、いじめ防止基本方針をもとに、管理職を中心に組織的な対応が進められた。 ・教委では不登校対策、中1ギャップ、小1プロブレム、いじめ対策等の指導を行った。 ・いじめ対策については、全校で年間最低2回の「いじめアンケート」や教育相談が実施され、未然防止・早期発見・早期対応の取り組みが行われた。 ・平成28年度の調査によるいじめ認知件数は10件あったが、管理職のリーダーシップの下、組織的に対応し、解決に向けて取り組んだ。 ・北檜山中学校へ道教委のスクールカウンセラー派遣を継続し、学校と連携して不登校生徒の対応に当たった。 ・平成28年度の町内で、90日以上欠席の不登校児童・生徒数は、2名（小学校0名、中学校2名）であった。ただし、30日以上となると、10名（小学校2名、中学校8名）となり予断を許さない状況である。 ・町教委としては、不登校児童生徒の状況について毎月報告を求め、実態把握に努めるとともに、町指導主事が必要に応じて各校を訪れ、いじめ・不登校についての情報収集や対応等について指導助言を行った。 ・不登校生徒の解消に努める。 	自己評価どおりでよい	B
8	教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校における校内研修の促進（檜山教育局指導主事及び町指導主事による学校指導訪問） ・せたな町教育研究会の充実（町教育研究大会の開催、今金町との2町授業交流会、サークル活動の活発化） ・町内各種教育団体への支援（生徒指導連絡協議会、特別支援学級教育研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校では、研修部を中心に研修計画が立てられ、それに沿って校内研修が推進されていた。 ・教育局指導主事及び町指導主事による学校指導訪問は、予定どおり進められ、各校の経営状況や児童生徒の実態把握、その後の指導・助言に大いに役立った。 ・町教育研究会及び町内各種教育団体の活動は、予定どおり活発に行われ、教職員の資質向上に寄与した。 ・各種研修事業については、道研、ミニ道研、学力向 	自己評価どおりでよい	B

		<p>会、へき地複式教育研究会等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道教育研究所、檜山教育局主催の研修講座への参加 	<p>上に関する研修会、生徒指導研などに参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修へのさらなる参加を促す。 		
9	食育教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養教諭による食育推進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校栄養教諭による各学校における「食に関する指導」及び「栄養指導」の実施 ・食の安全性の認識を図る給食試食会 ・職場体験学習実習生の受け入れ ・学校給食だよりの発行（毎月） ・安全安心な地元食材の活用 ・全ての食材をせたな町産で賄う「ふるさと給食」の提供 ・町内のアレルギー児童生徒のデータ収集とアナフィラキシーショック等のアレルギー症状についてのマニュアルの作成と配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校や中学校において、栄養教諭による食育教育を中心とした「食の指導」等を実施し、児童生徒の食に対する意識を高めた。 ・PTAや地域と連携した地元食材を使った調理実習も開催されるなど、各校で工夫された食育教育が推進された。 ・アレルギー児童生徒の情報を共有することや、校内研修を実施することで給食センターと学校の連携を深めると共に、アレルギーへの理解や事故の未然防止を図った。 ・代替給食に向けた調査研究を行う必要がある。 	自己評価どおりでよい	B
10	幼児教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度入園児童数 34名 (3歳児10人 4歳児10人 5歳児14人) 	<p>○園生活を通して友だちと関わりながら基本的な生活習慣や道徳性を身につけるなど、就学前幼児教育がなされている。また、特別支援を必要とする園児には、保護者の同意を得ながら特別支援教育支援員4名を配置し、個に応じた支援を行った。</p>	自己評価どおりでよい	A
11	学校健診事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒内科検診 487名実施 ・児童生徒尿検査 491名実施 ・児童生徒歯科検診 483名実施 ・児童生徒心臓（心電図）検診 117名実施 ・児童生徒耳鼻咽喉科検診 284名実施 ・中体連駅伝選手心臓検診 30名実施 ・児童生徒眼科検診 478名実施 ・就学時検診 55名実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と関係機関との連携の下で、学校保健法に定められている各種健診を計画的に実施し児童生徒の健康管理に努めた。 ・養護教諭へさらなる協力・連携を求める必要がある。 	自己評価どおりでよい	A

1 2	地域に開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・経営方針の説明、学校だよりの配布 ・学校評議員の委嘱 ・学校支援地域ボランティアの人材を外部講師として招聘 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校では、年度当初の参観日等で経営方針の説明を行うとともに、学校だより等で日常の児童生徒の様子を保護者や地域に知ってもらえるよう努めた。 ・学校評議員の視点から、学校経営等について意見をいただき、地域の意向を把握した学校運営が行われた。 ・学校支援地域ボランティアについても、各校の計画に沿って積極的に活用された。 ・学校評価については、自己評価（学校評価、児童・生徒評価、保護者評価等）が実施され、それらの結果については、PTA や参観日、学校だより等を用いて公表された。 ・学校運営協議会の設置に向けて各学校との調整、予算の確保。 	自己評価どおりでよい	B
1 3	子どもの安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校での「危機管理マニュアル」及び「火災や地震時の防災訓練」の点検・見直し、及び学校の立地条件に応じた火災・地震・津波・洪水などの実践的な対処や訓練の実施に向けての指導・助言 ・交通安全教室・防犯教室・薬物乱用防止教室等の実施に向けての指導・助言 ・各区毎に地域の関係機関・団体との情報交換を行い、町内安全パトロール実施 (子どもの安全を守る連絡協議会～夏休み前に開催) (生徒指導連絡協議会～各学校の決まり確認、子どもの様子等の情報交流、研修会の開催) ・せたな町通学路安全推進協議会を設置し、「通学路交通安全プログラム」を作成、プログラムに基づいた、町内各学校の通学路の確認・点検・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校における「危機管理マニュアル」の点検と見直しが行われ、災害時における立地条件に即した対処・訓練が行われた。 ・各学校では、防犯訓練・防犯教室など実際の場面に即した訓練を実施することで、危機管理下における児童生徒の安全確保を図った。 ・各区内の関係機関・団体と連携しながら、登下校時や帰宅後の安全指導、及び祭典時の巡回指導などに努めた。 ・せたな町通学路安全推進協議会を開催し、各校から危険箇所について意見聴取、その場所について関係職員等と点検を行い、それら全ての危険箇所の改善がされた。 ・薬物乱用については、これからは低年齢化が危惧されるため、小学校から発達段階に即した指導や、薬物乱用防止教室の全校での開催を図る必要がある。 	自己評価どおりでよい	B
1 4	児童生徒への就学援助	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護世帯 小学生 2世帯 3名 中学生 2世帯 3名 計 6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携のもとで、経済的援助を必要とする世帯に対して学用品費・修学旅行費等への支援ができた。 	自己評価どおりでよい	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護世帯 小学生 31 世帯 39 名 中学生 32 世帯 38 名 計 77 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入学用品と修学旅行費などの支給について、事前支給を検討している。。 		
1 5	学校教育環境の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久遠小学校特別教室天井補修工事 ・ 北檜山中学校柔剣道場耐震工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化が進んでいる学校はあるが、児童生徒が安全安心な学校生活を送るため、必要箇所の修繕については随時実施し適正な維持管理に努めた。 耐震化率について 1 0 0 % となった。 ・ 各学校のトイレ洋式化・多目的トイレの計画的な設置、各学校のバリアフリー化等。 	自己評価どおりでよい	B
1 6	教育の情報化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 I C T 教育環境整備業務 15,787 千円 (久遠小・瀬棚小の校内無線 L A N 整備及び教育データセンターの構築) ・ 小学校教師用パソコン購入事業 4,266 千円 (久遠小学校 10 台、瀬棚小学校 12 台) ・ 小学校教室用パソコン購入事業 1,544 千円 (久遠小学校 4 台、瀬棚小学校 5 台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報機器を活用した授業の工夫・改善が図られた。 ・ I C T を活用したことにより生徒の授業への集中がみられる。 ・ 授業・文化祭などで児童生徒が工夫して活用した。 ・ 教員の I C T 活用指導力の向上の調査・研究 ・ 中学校のインターネット環境の整備 	自己評価どおりでよい	B
1 7	フッ化物洗口事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校で保護者から実施について承諾の得られた児童・生徒に対して実施を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施している児童・生徒の歯・口腔の健康増進につながった。 	自己評価どおりでよい	A

(評価指標) A 十分達成されている B おおむね達成されている C やや不十分である D 不十分である

社会教育・社会体育

推進項目 (事業名)		事業の目的 (目標)	実施状況	自己評価 (成果と課題)	外部評価委員意見	評価
						H28
18	幼児教育の推進①	幼児教育に関する学習機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・11/27 地域子育て。～ふれあいエクササイズ教室～ 参加者 15名 (再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でもできるエクササイズについて、子どもと一緒に学習できた。 ・保健福祉課と連携し、健診時などを利用した学習プログラムの提供を検討する必要がある。 	自己評価どおりで良い	C
19	幼児教育の推進②	子育ての情報交換や交流の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業 月1回 ボランティア 14名 (再掲) ・2/11 地域子育て ～コミュニケーション力を身につける子育て～ 参加者 14名 (再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中以外の町民が聞いても、子どものために行動できるような内容であり、幅広い年齢層で情報交換を行うことができた。 ・地域で子育てを進めるために保護者のニーズを把握する必要がある。 	自己評価どおりで良い	B
20	幼児教育の推進③	関係機関や団体等との連携と協力体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業 月1回 ボランティア 14名 (再掲) ・7/15 北檜山小学校 学校ブックフェスティバル (再掲) スタッフ 19名 小学生人数 194名 幼稚園人数 24名 保育所 45名	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業に関しては、保健福祉課・ボランティア・教育委員会が連携し、実施することができた。 ・ブックフェスティバル事業に関しては、小学生だけでなく保育所・幼稚園も参加し、保育所・学校・ボランティアが協力し、取り組まれている。 ・今後も幼稚園や保育所のニーズに対応した社会教育事業(プログラム)の検討・提供が必要である。 	自己評価どおりで良い	B
21	少年教育の推進①	自然体験や生活体験、集団活動などの学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・9/22 自然体験活動事業 (ネイバル森) 参加者小学生 10名 ・9/1, 11/22 青少年健全育成講座 性教育 (北檜山中) 性教育 (大成中) ・8/2～4, 1/10～13 「子ども朝活」事業 久遠小学校 参加者 21名 ・7/28～29 北海道ジュニアリーダーコース派遣 (大成中 3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携して、児童生徒の生活課題・集団活動の取組みが計画的に実施された。 ・休日や放課後を活用した様々な体験プログラムの提供が必要である。 	自己評価どおりで良い	B
22	少年教育の推進②	異世代交流や地域での交流活動など、地域と連携した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・7/18 素敵にアート教室 ふれあいプラザ 小学生・保護者 27名 高校生ボランティア数 6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい雰囲気で行われ、高校生と小学生の異世代交流となった。 ・地域資源を活用した事業展開により、子どもから大人までの幅広い年齢層が一緒になって地域の新しい発見をする機会 	自己評価どおりで良い	B

		の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・12/25 素敵にアート教室 ふれあいプラザ 小学生・保護者29名 高校生ボランティア数6名 ・8/2 野生動物の写真とトーク 久遠小・情報センター 小学生21名 一般10名 	<p>となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生・高校生・高齢者の異世代交流を図ることが必要である。 		
23	青年教育の推進①	自然体験や生活体験、集団活動等を通じて主体的に学ぶ意欲を高める学習機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度において実施実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年層全般の活動機会を活性化するための事業実施が必要である。 	自己評価どおりで良い	D
24	青年教育の推進②	異世代交流や地域での交流活動など、地域と連携した活動がしやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度において実施実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年層全般の活動機会を活性化するための事業実施が必要である。 	自己評価どおりで良い	D
25	青年教育の推進③	地域担い手としての自覚を促す学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度において実施実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員に対する学習会を検討する必要がある。 	自己評価どおりで良い	D
26	青年教育の推進④	リーダーとなりうる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・8/2～4, 1/10～13 「子ども朝活」事業 久遠小学校 再掲 参加者21名 ボランティア数16名 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度においても、あさかつ事業を検討する。 	自己評価どおりで良い	C
27	成人教育の推進①	地域づくりへの理解と認識を深めるための学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・2/24, 25 バブルサッカー 一般46名(町外含) 小中学生32名 再掲 ・7/20 くつのはき方・選び方講習会 28名 ・9/24 テーピング講座 22名 ・11/15 美容と健康に役立つ足裏マッサージ 27名 ・11/26 文化財保護審議委員学習会 テーマ:文化財の保護・活用のために住民ができること」会場:大成郷土館 	<ul style="list-style-type: none"> ・北渡島檜山4町地域連携推進事業であるバブルサッカーの実施により、ニュースポーツの普及をすることができた。 ・それぞれのニーズに対応した学習機会の提供となった。 	自己評価どおりで良い	B

			<ul style="list-style-type: none"> ・11/27 地域子育て。～ふれあいエクササイズ再掲 参加者 16名 ・2/11 地域子育て。～コミュニケーションを身につける子育て 再掲 参加者 14名 			
28	成人教育の推進②	地域活動への参画支援	<ul style="list-style-type: none"> ・せたな町女性団体連絡協議会補助金 340,000円 ・せたな町PTA連合会補助金 190,000円 ・地域学習促進事業の周知 実施事業：2/24～3/24（全5回開催）ハンドベル教室 参加者 13名 2/3 料理教室 丹羽家政学級10名 その他7講座実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体運営に対する活動補助・支援が継続的に進められている。 ・地域学習促進事業の支援により、ハンドベル教室参加者が文化協会へ加盟し自主的活動が実施されるようになった。 ・地域学習促進に向けた周知徹底が必要。 	自己評価どおりで良い	B
29	成人教育の推進③	地域人材の把握と教育活動への参加促進及びリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録数 北檜山区56名、瀬棚区45名、大成区37名（再掲） 実施事業：読み聞かせ活動やスキー指導など	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録数は減少しているが、学校支援事業は継続的に実施できている。 ・コミュニティスクールの導入に対応した学校地域協働活動ボランティアの強化が必要。 	自己評価どおりで良い	B
30	成人教育の推進④	家庭教育に関する学習機会の支援と家庭・学校・地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・11/26 せたな町PTA連合会 教育講演会 ふれあいプラザ 参加者 81名 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動で子どもたちを取り巻く課題に対して、連携して学習機会を設け取り組んでいる。 ・教育委員会としては、課題の導きや専門的な人材の情報提供をしており、自発的な活動に繋げている。 	自己評価どおりで良い	B
31	高齢者教育の推進①	高齢者の知識や経験を地域に生かす社会参加活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録数 北檜山区56名、瀬棚区45名、大成区37名 再掲 実施事業：読み聞かせ活動やスキー指導など	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録数は減少しているが、学校支援事業は継続的に実施できている。 ・知識・経験を活かす活動機会の提供が必要。 	自己評価どおりで良い	B
32	高齢者教育の推進②	異世代交流などの場の提供と拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度において異世代交流事業の実施実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域における交流活動事業の実施を検討する必要がある（高齢者①との関連） 	自己評価どおりで良い	D

33	高齢者教育の推進③	いきがいを高める多様な学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の高齢者大学の開設 入学者数 北檜山：60名 瀬棚：12名 大成：25名 ・3区合同事業（入学式・修学旅行・修了式） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区それぞれ特色を生かした活動が進められた。 ・学生の要望や社会情勢の動きを取り入れた学習が行われ、それぞれ充実した内容となっている。 ・合同事業も定着し、区を超えた学生相互の交流が図られた。 ・プログラムの中身について検討及び工夫が必要である。 	自己評価どおりで良い	A
34	芸術文化の推進①	芸術・文化に関する鑑賞機会の提供と内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・8/31 影絵「ストーリーテラーと影絵劇」（北檜山中学校）小中学生550名 ・10/20 文化講演会「ゴルゴ松本 命の授業」（町民ふれあいプラザ）町民300名 ・1/14 落語寄席演芸（町民ふれあいプラザ）町民120名 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、芸術文化に触れる機会が少ないことから、ニーズに対応した鑑賞機会を提供することができた。 ・今後も様々な分野の芸術鑑賞事業について計画的に継続して提供したい。 	十分行われているため評価はBではなくAで良い	A
35	芸術文化の推進②	文化団体の育成と自主的活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・せたな町文化協会補助金 200,000円 ・せたな町民文化祭実行委員会補助金 472,485円 ・町民文化祭（3会場） （展示：11/5～11/7 発表：11/12～11/13） 発表団体数 北：12団体 大：4団体 瀬：4団体 計20団体 町民等延べ1,290名 ・2/26 サンデーカルチャー教室（青少年センター）町民54名 参加団体数：8団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体運営に対する活動補助・支援が継続的に進められている。 ・文化協会独自事業のほか、教育委員会と連携した共催事業に取り組むことで、団体活動の活性化が図られた。 ・後継者不足に対応した事業提供について検討が必要である。 	十分行われているため評価はBではなくAで良い	A
36	文化財保護の推進①	文化財・郷土資料の保護・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・各区郷土資料施設において、有形文化財の保護・一般公開。 ・11/26 文化財保護審議委員学習会 「テーマ：文化財の保護・活用のために住民ができること」会場：大成郷土館 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等の保護については、適正な維持管理に努めた。 ・文化財保護審議委員から要望があった研修会の開催ができた。 ・適切な維持を行っていくためには、専門職員が必要である。 	自己評価どおりで良い	C
37	文化財保護の推進②③	郷土芸能伝承活動の推進・発表等の機会の提供による後継者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・せたな町郷土芸能団体連絡協議会補助金 87,200円 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体運営に対する活動補助・支援が継続的に進められている。 ・連絡協議会の団体数が減少しているが、伝承活動を継続できるよう今後も支援が必要である。 	自己評価どおりで良い	B

38	国際交流の推進①	国際感覚を身につけるための学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女英会話教室 5月～3月（計35日間実施）小学生3～4年生15名 ・初心者英会話教室 4月～3月（計35日間実施）中学生以上22名 ・上級者英会話教室 5月～3月（計9日実施）中学生以上9名 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なクイズを織り交ぜた講座になっている為、非常に親しみやすくなっている。また、地域の人たちの国際交流の場としても活用されている。 ・町内全域の学習機会の提供の為、英会話教室の開催について工夫や検討が必要である。 	自己評価どおりで良い	B
39	国際交流の推進②	姉妹都市交流における青少年・成人交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・せたな町姉妹都市交流推進協議会補助金 150,000円 ・5/12 ジョン神塚ピアノコンサート ふれあいプラザ 参加者120名 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流として、ジョン神塚氏によるピアノコンサートを実施し、町民と連弾を行うなど交流が図られた。 ・新しい事業計画が必要である。 	自己評価どおりで良い	C
40	国際交流の推進③	留学生受け入れ家庭の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ家庭が確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流推進協議会と調整が必要である。 	自己評価どおりで良い	D
41	読書活動の推進①	ブックスタート事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートボランティア 対象36名 ボランティア14名（再掲） ・11/30 ブックスタート研修会 8名 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者全員に対して本の提供ができた。また、保護者の意見も聴くことができた。 ・今後も継続し、本に親しむ環境整備を進めていく。 	自己評価どおりで良い	A
42	読書活動の推進②	図書館・学校図書館・関係団体との連携協力による読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・7/15 ブックフェスティバルの開催（再掲） ・6/21, 9/28, 10/18, 2/28 図書館 de カフェ（再掲） ・12/13 移動図書館ブックン（若小・馬場川小）（再掲） ・読書感想文集の発行・配布 ・北檜山区：おはなし広場 読み聞かせイベント 大成区：図書館イベント 学校での読み聞かせ ・11/30 ブックスタート研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に読書活動事業を進めることで読書活動へ親しむ子どもが増えてきている。 ・図書館 de カフェを各区で実施することができた。 	自己評価どおりで良い	A
43	読書活動の推進③	読み聞かせなど子どもに関わる読書ボランティア活動の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・北檜山区：おはなし広場・読み聞かせイベント ・大成区：図書館イベント・学校での読み聞かせ ・ブックスタート（毎月1回）（再掲） ・7/15 ブックフェスティバル（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り活動が実施できた。 	自己評価どおりで良い	A

			<ul style="list-style-type: none"> ・6/21, 9/28, 10/18, 2/28 図書館 de カフェ (再掲) ・12/13 移動図書館ブックン (若小・馬場川小) (再掲) ・11/30 ブックスタート研修会 8名参加 (再掲) 			
44	読書活動の推進④	図書・視聴覚などの学習教材の充実	<p>図＝図書購入 (一般書・児童書・専門書等) 雑＝雑誌 新＝新聞 D＝DVD等 リ＝リクエスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報センター 図 357冊 雑 98冊 新 2種 D 0 リ 25冊 ・大成図書館 図 462冊 雑 204冊 新 2種 D 0 リ 30冊 ・瀬棚図書センター 図 215冊 雑 102冊 新 0 D 7本 リ 随時対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り整備ができています。 ・生涯学習センター図書室の充実を図る必要がある。 	自己評価どおりで良い	A
45	生涯スポーツの推進①-1	スポーツの日常化に必要な学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・10/2「朝原宣治」実技教室&トークショー (北中グラウンド・体育館) 82名・75名 ・5月～10月 計5回 キッズ体操教室 (町民体育館) 25名 ・8/1～8/5 初心者水泳教室 (北檜山区・瀬棚区) (町民プール) 小学1・2年 44名 ・1/10～1/12 初心者スキー教室 (北檜山区・瀬棚区) (丹羽スキー場) 積雪不足で中止 ・1/17～1/26 計5回 スキー教室 (大成区) (大成スキー場) 町民 42名 ・3/8 健康づくり講座 (アンチエイジング体操) (ふれあいプラザ) 町民 21名 ・3/13 トレーニング講座 (トレーニングマシンの使い方) (町民体育館) 町民 33名 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室とも、運動の基礎と実践を学習する機会として大いに活用され、技術の向上、日常活動の促進につながっている。 ・参加者が固定しているため人数を増やす工夫が必要である。 	自己評価どおりで良い	B

46	生涯スポーツの推進①-2	スポーツの日常化に必要な学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・9/17 町民歩こう会大成会場 67名 ・10/1 町民駅伝競走大会（大成区）17チーム 73名 ・1/14 子ども体力チャレンジ祭（町民体育館）40名 ・2/5 町民スキー大会（丹羽スキー場）37名 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体との連携のもと、計画通り進められており、スポーツ活動の促進が図られている。 ・町民スキー大会をせたなスキー協会事業として開催検討したい。 	自己評価どおりで良い	B
47	生涯スポーツの推進②	誰でも気軽に行うことができる軽スポーツ等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・2/25 バブルサッカー交流会（町民体育館）小中学生 32名 	<ul style="list-style-type: none"> ・バブルサッカーの普及を図ることができた。 ・町民への競技紹介が必要。 	自己評価どおりで良い	C
48	生涯スポーツの推進③	スポーツ団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・せたな町体育協会補助金 751,000円 ・せたな町スポーツ少年団連絡協議会補助金 789,100円 ・キャンプタウンきたひやま推進の会補助金 344,000円 ・せたな町スポーツフェスタ実行委員会補助金 96,597円 ・総合型地域スポーツクラブとの連携・支援各開催事業への後援 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の活動活性化が図られた。 	自己評価どおりで良い	B
49	生涯スポーツの推進④	指導者の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・2/24 バブルサッカー指導者講座（せたな町民体育館）46名 ・3/14 カーリンコンインストラクター認定研修受講（函館市）2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の魅力を発信できる指導者養成ができた。 ・様々な指導員の養成を図りたい。 	自己評価どおりで良い	B
50	海洋スポーツの推進①	青少年に対する自然観察などを含めた体系的な学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・4/19・10/21 海の自然観察会（海藻押葉）（B&G艇庫） ・6/10 川の自然観察会（講話）（馬場川） ・7/8 水辺の安全教室着衣泳（B&Gプール）（再掲：海洋②） ・7/13 海の自然観察会（漂流物調査）（B&G艇庫） ・9/7 森の自然観察会（原田森林） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会では海や川の動植物の名前や生態、森の観察では樹木の名称や生育を学んだ。また、着衣泳教室では水の事故防止、植樹祭では植樹体験を提供できた。 ・他の学校からの要望に応じて対応していきたい。 	自己評価どおりで良い	B

			<ul style="list-style-type: none"> ・10/26 海の環境を守る植樹教育活動(植樹祭)(丹羽地区) 			
5 1	海洋スポーツの推進②	水の事故を防ぐための安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・7/8 水辺の安全教室着衣泳体験(B&Gプール) 瀬棚小学校児童 69名 ・8/26 海の遠足【着衣泳体験】(B&Gプール) 若松小・馬場川小児童 11名 	<ul style="list-style-type: none"> ・着衣泳を学び水の事故防止を図ることができた。 ・水の事故を防ぐため、多くの町民の関心を高めるよう、海洋スポーツの普及啓発が必要。 	自己評価どおりで良い	B
5 2	海洋スポーツの推進③	マリンスポーツ体験や講習会等の学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・6/25 プールでOPヨット体験会・カヌー体験会(B&Gプール) 小学生10名 ・7/18 海の日(カヌー・SUP・セイリング)教室(B&G艇庫) 町民15名 ・8/27 カヌーで川下り体験(利別川) 町民10名 	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンスポーツ体験を提供できた。 	自己評価どおりで良い	B
5 3	海洋スポーツの推進④	海洋クラブ・指導者会の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋クラブ補助金 76,000円(大会派遣14名・アカデミー派遣3名) ・平成28年度においてリーダー養成事業(研修会等)の実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋クラブに対する活動支援が図られた。 ・リーダー養成により指導体制の充実を図る必要がある。 	自己評価どおりで良い	B
5 4	海洋スポーツの推進⑤	専門指導職員の育成・配置	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度において専門指導職員の派遣 ・沖縄県(43泊44日 5/25~7/7) 町教委職員 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスト・インストラクター1名増員することができた。 ・B&G運営に必要な専門指導員の配置の他、各種事業を進めるためのリーダー養成を計画的に進める必要がある。 	自己評価どおりで良い	B
5 5	社会教育・社会体育施設の整備①	施設機能の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・真駒内球場キュービクル等修繕 1,188,000円 ・真駒内球場内野表層土整備修繕 783,000円 ・B&G海洋センター体育館遠赤外線放射暖房機修繕 320,760円 ・せたな町民体育館給水管等改修工事 2,030,400円 ・北檜山スポーツ公園管理棟外壁改修工事 1,846,800円 ・艇庫管理棟サッシ改修工事 7,020,000円 ・移動用音響設備機器購入事業 206,600円 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設とも住民の日常活動及び社会教育・社会体育事業の拠点として効果的に利用されている。 ・今後も整備については、計画的に進めていく必要がある。 	自己評価どおりで良い	B

			<ul style="list-style-type: none"> サッカーゴール購入事業 289,440 円 エアロバイク購入事業 259,200 円 			
56	社会教育・社会体育施設の整備②	施設の総括的かつ効率的な維持と運営管理	<ul style="list-style-type: none"> 旧瀬棚商業高等学校の再利用計画（生涯学習センター実施設計業務） 	<ul style="list-style-type: none"> 旧瀬棚商業高等学校の再利用計画として生涯学習センターの整備。 老朽化に伴い、町民プールを早期に建て替える必要がある。 	自己評価どおりで良い	C
<p>(評価指標) A 十分達成されている B おおむね達成されている C やや不十分である D 不十分である</p>						